

平成26年度 学習指導改善調査実施要項

1 事業の目的 当県学校教育の重要課題である「確かな学力の向上」を図るため、考える力（身に付けた知識や技能を活用できる力）に関する実態調査を実施し、その後の学習指導の改善に資する。

2 事業内容

- (1) 調査内容 思考力・判断力・表現力にかかわる内容
 (2) 調査教科 3教科（国語，算数，理科）
 (3) 調査対象児童 県内小学校4年生以上の全学級
 ・データ校児童数 各学年児童 約850人

(4) 調査結果の活用

調査後，データ校の問題ごとの正答率や誤答率，無答率を調査・集計し，ホームページに掲載する。また，データ校から提出された資料に対して，研究推進委員会で分析・考察を行い，ホームページで公開する。

3 調査方法

- (1) 調査法 記述式によるペーパーテスト
 (2) 調査範囲 前学年の指導内容
 (3) 調査実施方法
 ① テストは学級担任が実施する。
 ② テストの実施時間は1教科40分（最大延長5分）とする。問題用紙，解答用紙の配布や説明時間等は別に5分とり，1単位時間で実施する。
 ③ 担任が採点し，集計ファイルにデータ入力を行う。
 ④ データ校は，8月1日（金）までに学年1学級分のデータを事務局にメールで提出するとともに，分析用紙を事務局に送付する。
 (4) 調査実施時期 5月26日（月）～7月18日（金）（各校の実態により変更可）

4 調査組織

名称	構 成 員	備 考
本部委員会	・会長，副会長 3人 ・研修部理事 6人 ・幹事長，事務局長 2人 計 11人	事業推進の統括にあたる。
研究推進委員会	上越 中越 下越 新潟 部長 国語 3 3 3 3 1 13人 算数 3 3 3 3 1 13人 理科 2 2 2 2 1 9人 計 35人	問題作成，指導事項等の検討，作成にあたる。

※理科部は，問題作成，結果分析，指導案・校内研修の手引き作成のうち，問題作成と分析のみ行う。

5 調査実施計画

4	
5	・ 第1回研究推進委員会(15) ・ 調査問題掲載(23) ・ 調査実施(5/26~7/18)
6	・ 第2回研究推進委員会(12)
7	
8	・ 第3回研究推進委員会(18)
9	・ 第4回研究推進委員会(19)
10	・ 第5回研究推進委員会(23) 郡市報告会
11	・ 実施状況調査依頼(4) ・ 第6回研究推進委員会(18) 郡市報告会
12	・ 郡市報告会
1	・ 第7回研究推進委員会(6)
2	・ 問題校正会議(26)
3	

- ・ 問題校正会議には本部委員会も参加する。
- ・ 第1回, 第5回の研究推進委員会は, 小教研担当理事が指導・助言を行う。

6 事業推進計画（重点事項）

(1) 協力校の選定

ユニット式のテストに学校全体で取り組み, その過程や結果, テスト後の学習指導の改善をホームページ等で報告する学校を「協力校」とする。協力校は, 原則として2年間継続して取り組むこととする。**協力校は, 平成25年度中に各郡市で選定する。**

(2) 公開校による実践事例報告会の開催

上・中・下越・新潟市の「協力校」の中からそれぞれ1校ずつ, 取組の過程や結果, テスト後の学習指導の改善について授業で公開する学校を, 「公開校」とする。

公開校は, 前年度の11月理事会で選定する。

※平成26年度公開校は, 平成25年度11月に選定してある。

※平成27年度公開校を, 平成26年度11月に選定する。

(3) データ校の選定

県平均正答率を算出するためのデータを提供する学校を、「データ校」とする。データ校は、各学年1学級以上の集計ファイルと分析用紙を8月1日（金）までに県小教研事務局に提出する。

データ校は、平成25年度中に各郡市で選定し、県小教研事務局に報告する。学校数を考慮し、新潟市については4校、長岡市・三島郡及び上越市は2校とする。

データ校は、1年ごとに変わって構わない（協力校が2年間継続して兼ねてもよい）。

26年度も、すべてのデータ校の学級の正答率と自学級の正答率を、ホームページ上で分布図によって比較し、自学級の実態を把握することができるようにする。

(4) 協力者の選定

学習指導改善調査研究事業に熱心に取り組み、実践の過程や結果を公開する教師「協力者」として選定する。選定に当たっては学年及び教科を問わず、「考える力」の育成に積極的に取り組む教員を、各郡市で募集・選定する。

教科を問わず1名以上を各郡市で選定する。ただし、協力校以外の学校から選定する。

協力者は平成26年度5月に各郡市で選定する。

(5) 学習指導改善調査郡市報告会等の開催

学習指導改善調査研究事業研修会・報告会などを各郡市の年間予定に位置付けて実施する。会の実施にあたっては、研究推進委員の派遣等による人的支援のほか、規定内で会場費、旅費等の補助も行う。

(6) スーパーバイザーの委嘱

学問的により高い見地から、調査問題や調査方法についての指導を受けるため、県内にある大学の先生方からスーパーバイザーを引き受けていただく。

スーパーバイザーからは、問題や手引きの作成段階で適宜指導を受けるほか、学習指導改善調査報告会等の場を利用して、調査の意義や改善点などを指導していただく。

【国語】新潟大学教育学部 准教授 足立 幸子 先生

【算数】上越教育大学 教授 布川 和彦 先生

(7) 研究推進委員の推薦

研究推進委員会は以下の委員で構成する。

- ・部長（国語・算数・理科各1名）
- ・委員（上越・中越・下越・新潟市から各3名
※理科部は各2名）

研究推進委員は、教科に対する知見及び指導力に優れた教員を各地区から推薦し、**研修部理事が調整して決定する**。任期は原則として3年。考え方が新委員に適切に伝わるよう、各地区1/3ずつ交代することを基本とする。